



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月31日

上場会社名 株式会社電算 上場取引所 東
コード番号 3640 URL <https://www.ndensan.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 轟 一太
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 穂川 尚実 TEL 026-224-6666
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	4,405	4.0	421	411.9	428	396.6	289	454.0
2026年3月期第1四半期	4,238	18.2	82	△21.0	86	△21.1	52	△30.6

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 198百万円 (39.3%) 2026年3月期第1四半期 142百万円 (33.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	52.18	52.13
2026年3月期第1四半期	9.00	8.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	21,460	15,772	73.5	2,839.90
2026年3月期	25,645	16,256	63.3	2,927.30

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 15,763百万円 2026年3月期 16,245百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	17.00	—	123.00	140.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		30.00	—	70.00	100.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2026年3月期期末配当金の内訳 普通配当 63円00銭 記念配当 60円00銭

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	8,120	△23.4	311	△81.5	322	△80.9	222	△80.9	40.01
通期	23,500	△16.0	2,465	△60.9	2,477	△60.6	1,700	△62.0	306.43

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2. 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2026年3月31日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	5,837,200株	2026年3月期	5,837,200株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	286,535株	2026年3月期	287,535株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	5,549,676株	2026年3月期1Q	5,810,469株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における景気は、中東情勢の影響を注視する必要があるものの、緩やかに回復しております。先行きにつきましては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかな回復が期待される一方、中東情勢の動向に加え、金融資本市場の変動について、引き続き注意する必要があります。

情報サービス産業においては、「デジタル社会の実現に向けた重点計画」等の政府による各種施策の推進、加速する高齢化と生産年齢人口減少に伴う労働力不足を背景に、AI・デジタル技術を活用した社会全体のデジタル化が一層進展しております。今後も生成AIの用途拡大などを背景に、さらなる投資拡大が続くことが期待されます。

このような状況のもと、公共分野においては、各種法制度改正対応、各種システムの新規導入やリプレースに加えて、2026年3月までに標準準拠システムへの移行が完了できず2026年度以降の移行となった「特定移行支援システム」を有する団体の獲得に向けた提案と受注活動に注力しました。産業分野においては、リース業務パッケージ、生産管理システム、医療機関向けのシステムの提案及び受注活動に注力しました。

また、2026年6月18日に、株式会社ITSOとAI事業に関する資本業務提携を行いました。これにより、生成AIを活用した業務の高度化や自動化及び公共・金融・地域産業領域におけるセキュアなAI活用基盤の提供に向けた活動を推進しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、公共分野での各種法制度改正への対応、標準準拠システムの導入後の運用補助及び産業分野でのリース業務パッケージ、各種システム導入等により、前年同四半期と比較して増収増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,405百万円（前年同四半期比4.0%増）、営業利益は421百万円（前年同四半期比411.9%増）、経常利益は428百万円（前年同四半期比396.6%増）及び親会社株主に帰属する四半期純利益は289百万円（前年同四半期比454.0%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

<公共分野>

行政サービスに係る受託処理、地方公共団体向けの各種システムや機器の保守サービスを継続的に提供しました。さらに、税制改正による「年収の壁」引き上げ等の各種法制度改正、標準準拠システムの導入後の運用補助、個別顧客向けの新システムの導入等を、効率よく進めたことにより、前年同四半期と比較して、増収増益となりました。

また、研究開発活動では、総合行政情報システム「Reams」の次期プロダクト開発を継続して進めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,405百万円（前年同四半期比4.0%増）、営業利益は382百万円（前年同四半期は12百万円の営業利益）となりました。

<産業分野>

自社データセンターを利用した口座振替や給与計算等の受託計算処理及び民間企業、金融機関、医療・福祉機関向けの各種システムや機器の保守サービスを継続的に提供しました。さらに、リース業務パッケージ、生産管理システム、医療機関向けのシステムの提供及び機器販売等を実施したことにより、売上は前年同四半期と比較して、増収となりました。利益につきましては、研究開発活動として、医薬品在庫管理システムの次期プロダクト開発を継続して推進したことによる研究開発費の増加等により、前年同四半期と比較して、減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,000百万円（前年同四半期比4.0%増）、営業利益は40百万円（前年同四半期比41.3%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末と比較して4,185百万円減少し、21,460百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2,968百万円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が7,053百万円、流動資産のその他が267百万円減少したことによるものです。

負債は前連結会計年度末と比較して3,701百万円減少し、5,688百万円となりました。これは主に、未払法人税等が1,627百万円、買掛金が1,057百万円、流動負債のその他が407百万円、賞与引当金が310百万円、短期借入金が240百万円減少したことによるものです。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して483百万円減少し、15,772百万円となりました。これは主に、利益剰余金が393百万円、その他有価証券評価差額金が86百万円減少したことによるものです。

なお、自己資本比率は、73.5%（前連結会計年度末63.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、公共、産業の両分野ともに、各種システムの導入等を効率よく進めており、好調に推移しております。しかしながら、当社を取り巻く環境においては、AI関連投資やデータセンター需要の拡大を背景に、半導体関連市場は堅調に推移している一方で、サーバー等の需給逼迫や納期動向、調達コストの上昇など、不確実性の高い状況が継続しております。

このような状況のもと、今後の業績への影響額を合理的に見積もることが困難であることから、2026年5月15日の「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想を修正しておりません。業績予想への影響について現在精査中であり、今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2026年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,113,070	7,082,059
受取手形、売掛金及び契約資産	10,854,702	3,800,895
リース投資資産	945,924	912,325
商品	79,946	148,214
原材料及び貯蔵品	43,094	56,436
その他	829,682	562,379
貸倒引当金	△60	△58
流動資産合計	16,866,360	12,562,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,680,117	3,612,990
その他（純額）	2,278,910	2,400,954
有形固定資産合計	5,959,028	6,013,945
無形固定資産		
ソフトウェア	943,146	876,952
その他	172,945	203,602
無形固定資産合計	1,116,092	1,080,555
投資その他の資産		
その他	1,714,483	1,814,000
貸倒引当金	△10,329	△10,312
投資その他の資産合計	1,704,153	1,803,688
固定資産合計	8,779,274	8,898,188
資産合計	25,645,634	21,460,441

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,952,108	894,274
短期借入金	1,202,000	962,000
未払法人税等	1,644,147	16,569
賞与引当金	627,350	316,998
製品保証引当金	8,370	8,588
その他	2,390,344	1,982,996
流動負債合計	7,824,322	4,181,428
固定負債		
退職給付に係る負債	1,024,760	1,004,060
その他	540,220	502,610
固定負債合計	1,564,981	1,506,671
負債合計	9,389,303	5,688,100
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,395,482	1,395,482
資本剰余金	1,046,193	1,045,068
利益剰余金	14,235,658	13,842,646
自己株式	△841,654	△838,727
株主資本合計	15,835,679	15,444,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	253,535	167,523
退職給付に係る調整累計額	156,310	151,342
その他の包括利益累計額合計	409,845	318,866
新株予約権	10,806	9,005
純資産合計	16,256,331	15,772,341
負債純資産合計	25,645,634	21,460,441

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月30日)
売上高	4,238,162	4,405,791
売上原価	3,253,857	2,826,688
売上総利益	984,304	1,579,102
販売費及び一般管理費	901,948	1,157,503
営業利益	82,356	421,599
営業外収益		
受取利息	381	1,861
受取配当金	7,980	7,651
その他	1,233	3,056
営業外収益合計	9,594	12,569
営業外費用		
支払利息	5,254	5,464
その他	376	0
営業外費用合計	5,631	5,464
経常利益	86,320	428,704
税金等調整前四半期純利益	86,320	428,704
法人税、住民税及び事業税	3,096	2,584
法人税等調整額	30,953	136,522
法人税等合計	34,050	139,107
四半期純利益	52,270	289,597
親会社株主に帰属する四半期純利益	52,270	289,597

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)
四半期純利益	52, 270	289, 597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	93, 347	△86, 011
退職給付に係る調整額	△2, 996	△4, 967
その他の包括利益合計	90, 351	△90, 979
四半期包括利益	142, 621	198, 617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	142, 621	198, 617
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	393,383千円	188,484千円

(セグメント情報等の注記)

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共分野	産業分野	計		
外部顧客への売上高	3,275,477	962,684	4,238,162	—	4,238,162
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	232	232	△232	—
計	3,275,477	962,916	4,238,394	△232	4,238,162
セグメント利益	12,784	69,513	82,298	58	82,356

(注) 1. セグメント利益の調整額58千円には、セグメント間取引消去△215千円、各報告セグメントに配賦していない配賦差額273千円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2026年4月1日至2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共分野	産業分野	計		
外部顧客への売上高	3,405,033	1,000,758	4,405,791	—	4,405,791
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	232	232	△232	—
計	3,405,033	1,000,991	4,406,024	△232	4,405,791
セグメント利益	382,574	40,790	423,365	△1,765	421,599

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,765千円には、セグメント間取引消去△210千円、各報告セグメントに配賦していない配賦差額△1,554千円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。